

HRRC

公益社団法人東三河地域研究センター

Higashimikawa Regional Research Center

住所：〒440-0888 豊橋市駅前大通3丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2階

電話番号：0532-21-6647 担当者：高橋

主要業務：調査研究事業

ホームページ：https://www.hrrc.jp/

目指すゴール



公益社団法人東三河地域研究センターは、東三河地域の地域開発を推進する東三河開発懇話会（平成13年6月より名称変更：東三河懇話会）を母体として昭和58（1983）年に社団法人として設立し、東三河地域を主な圏域としたシンクタンクとして活動してきました。

平成24年10月1日に内閣府認定の公益社団法人に移行し、県境を越えた三遠南信地域に活動圏域を拡大し、地域経済社会との強い関連性を維持・確保した地域づくりのシンクタンクとして継続的な活動を行ってまいります。



左上：第5回東三河グローアップミーティング「SDGsの基本理解と企業活動への実装」のワーキングの模様
右上、左下：魅力発見！初めてのジオツアーin渥美半島の様子

SDGsの取組み紹介

SDGs は企業にとって大きな課題になりつつあり、特に気候危機問題は企業の変革を強く促しています。また、深刻な人口減少が進行する日本では、地域社会を構成する様々な主体が地域の持続可能性を見いだしていく必要もあります。

今後激変していく社会において、企業は SDGs にどう取り組むべきかを、具体的に考える勉強会『第5回東三河グローアップミーティング「SDGsの基本理解と企業活動への実装」』を東三河懇話会と共催しました。「地域と企業で共有できるサステナブルな価値創造」という課題で東三河の地域課題と解決するビジネスモデルについて、グループワーク、発表会を行いました。

また、No.14「海の豊かさを守ろう」& No.15「陸の豊かさを守ろう」について、「魅力発見！初めてのジオツアーin渥美半島」という名称の日帰りバスツアー（愛知県東三河総局委託事業「東三河自然再生推進業務」）を2021年11月23日、同月28日に実施しました。2回実施して各20名余の一般参加を得ました。ジオツアー実施の視点である「渥美半島のジオサイト」を知り、「魅力発見」として発信することで、地元にも良さを周知することで、地域のジオサイトと取り巻く自然の豊かさを認識し、守っていくきっかけになるということ、参加者とともに学びました。